

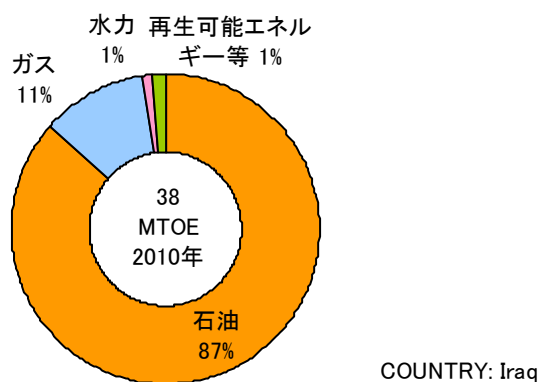
4-5 イラク

1. サマリー

1. エネルギー事情

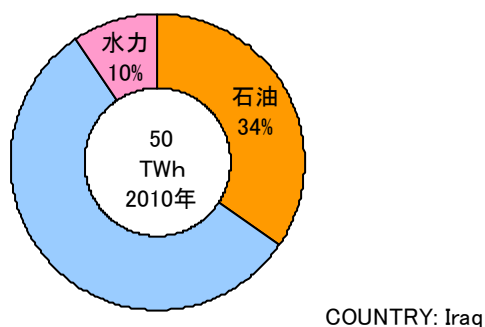
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 37.81 百万 TOE (日本の 0.08 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 1.17TOE (日本の 0.32 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 333%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 104.5 百万 CO₂ 換算 ton(日本の 9.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 3.23CO₂ 換算 ton(日本の 36.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油、天然ガス共に 100 年以上

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- イラクのエネルギー政策における意思決定機関としては、2005年に創設されたエネルギー評議会（議長：シャハリスターニ（al-Shahristani）エネルギー問題担当副首相）があり、個別の石油・ガス関連政策については石油省が、電力関連政策は電力省が所管している。

(2) 基本政策

- イラクのエネルギー政策において目下最も優先されている課題が石油生産及び収入の回復を加速させることである。また、イラク戦争後の復興が進むにつれ、国内経済の復興や産業の発展、社会安定の確保に向けた電力供給の安定化についても重視されるようになってきている。この他には、随伴ガスの回収と活用を含む国内の天然ガス供給体制の強化、国内製油所の新增設による石油製品の安定供給確保なども、重要性の高い政策課題として認識されている。

(3) 最近の動向

- 第一次入札による生産中の油田の増産案件が順調に進んでいること、また北部クルディスタン（Kurdistan）地域の生産量も徐々に増加しつつあること等により、イラクの石油輸出量が増加基調にあり、2012年10月の生産量は303.5万b/dにまで増加した。
- 2012年5月には第四次入札が実施され、12の鉱区が入札にかけられた。入札参加資格を得た47社のうち、実際に応札したのは11社に留まり、落札された鉱区は第8鉱区（ガス）、第9鉱区（石油）、第10鉱区（石油）の3つだけだった。石油省は生産分与契約を許可しておらず、過去の開発入札と同様にサービス契約に固執したため、探鉱のリスクを鑑みて多くの企業が入札しないことを選んだ模様である。メジャー企業の応札はゼロだった。日本勢は、国際石油開発帝石がLukoil（オペレータ）と組んで第10鉱区を落札した。Garraf油田（オペレータ：Petronas）の開発に従事している石油資源開発は、伊藤忠商事と組んでオペレータとして第8鉱区に応札したが、Pakistan Petroleumに破れた。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2011年の日本のイラクからの原油輸入は572万kl（約10万b/d）で、原油輸入全体の2.2%である。
- 2009年12月に実施された第二次鉱区入札において、石油資源開発がGarraf油田の開発契約を獲得した。
- 2012年5月に実施された第四次鉱区入札において、国際石油開発帝石が第10鉱区の探鉱・開発契約を獲得した。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	37.81	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	1.17	TOE/capita
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	1.03	TOE/\$1000
(4)	エネルギー自給率	333	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	104.5	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	3.23	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	0	%
	石油	86.4	%
	ガス	11.1	%
	原子力	0	%
	水力	1.1	%
	再生可能エネルギー等	1.5	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-233	%
(9)	石油の輸入依存度	-272	%
(10)	輸入原油の中東依存度	-	%
(11)	原油輸入先		
	第1位	-	
	第2位	-	
	第3位	-	

(出所) : (1)～(4) 及び(7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition